会　議　録

会 議 名 称	令和元年度　第３回加古川市子どもの読書推進計画（第３次）策定委員会
開 催 日 時	令和元年 11 月 22 日（金）午後 3 時から午後 4 時 40 分まで
開 催 場 所	加古川市役所本館３ 階 ２４１会議室
出　席　者	＜委員＞ 森委員長、渡瀬委員、石田委員、今津委員、岡田委員、宮川委員 欠席：米光委員 ＜ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ＞ こども政策課真島課長、幼児保育課宮北課長 社会教育・スポーツ振興課福島課長、学校教育課境課長 ＜事務局＞ 中央図書館小浦館長、田中館長（加古川図書館）、成川資料担当係長、田杭
会 議 次 第	１ 開会 （１）委員長あいさつ ２ 議事 （１）加古川市子どもの読書活動実態調査結果報告について（説明及び意見交換） （２）加古川市子どもの読書活動現状把握並びに課題検討について（説明及び意見交換） （３）加古川市子どもの読書活動推進計画全体の構成について（説明及び意見交換） ３ 閉会
配 付 資 料	資料１ ・１－１　子どもの読書活動実態調査 ・１－１－２　子どもの読書活動実態調査－経年比較集計 ・１－２　不読率・１か月間の平均読書冊数の推移 参考資料Ａ－１　学校図書館メディア基準　蔵書の最低基準冊数達成率 資料２ ・２－１　子どもの読書活動実態現状把握並びに課題 ・２－２　令和元年度全国学力・学習状況調査結果の概要 （加古川市・国語） ・２－３　第 65 回学校読書調査の記事 資料３ 加古川市子どもの読書活動推進計画（第３次）計画・目次

審議内容	
1　開会	（1）森委員長あいさつ
2　議事	（1）　加古川市子どもの読書環境実態調査結果報告について
（事務局）	資料 1-1「加古川市子どもの読書環境実態調査結果報告」に沿って説明 資料 1-2「不読率・１か月間の平均読書冊数の推移」引用 調査対象と達成率について 単純集計について（小学校１・２年生、小学校３・４年生、小学校５・６年生、中学生、養護学校、未就学児の保護者、高校生） クロス集計について（小中学生、未就学児の保護者） エリア別集計について（小学１・２年生、小学３・４年生、小学５・６年生、中学生） 資料 1-1-2　「加古川市子どもの読書環境実態調査－経年比較集計」に沿って説明 １．子どもの読書活動の実態ついて ２．未就学児の保護者について
（委員）	私はいい本でもなくてもいいから、子どもが本と出会って、好きになってほしいと考えている。アンケート調査項目にライトノベルとあるので自分なりに調べてみた。今の中高生が借りたい本とはどんな本なのでしょうか。
（事務局）	毎日新聞の第６５回学校読書調査で子どもたちの好きな本として学習漫画が出ています。全国学校図書館協議会の方の意見でも「実際に読んでいる本を見ると、昔に比べ平易で手軽なものが多い。安易な方に流れてはいないか注視していきたい。」とあります。好きな本の中には古典は登場していない。各学校でも読書マラソンなどで本をたくさん読むように勧められていますが、軽く早く読める本で数を競って、ゆっくり読んだり、何回も読み返したりする本はなかなか手に取らないと感じています。
（委員長）	私たちの時代は読書とは純文学や古典的な小説が中心でしたが、子どもたちが読んでいる本は、歴史漫画やライトノベルなど多様化している。幅広い読書のあり方を考えながらアンケートを取っていく必要があるのではないでしょうか。

（委員）	アンケートの中に図書館にもっと本を揃えてほしいというのがあるが、すでに揃っていると思うがどうなのか。
（事務局）	ヤングアダルトコーナーという１０代の向けのコーナーがあるが、加古川市の図書館では、大人が考える子どもたちに読んでほしい本を置いている傾向にある。本来ヤングアダルトコーナーは、子どもたち自身が読みたい本を置くコーナーとなるべきかと思う。なかなか選書するのは難しい。
（委員）	本はたくさんあるけど、読める本がない。子どもたちは簡単に読める本を探しているのではないか。
（事務局）	小学校の子どもたちはどうですか。
（委員）	低学年の子どもたちは、お家の方に読んでもらうというのが影響していて、中・高学年になると、学校の図書室の充実という点が影響しているのかなとアンケートを見て感じました。その充実の中身が図書ボランティアさんに図書室に入って、図書室の環境を整えてもらうことでもあり、また、子どもたちの関心が高い本は、手に取ってみたいと思う表紙だったり、楽しそうな感じだったり、視覚的な情報に意味があると感じました。高学年になるとゲームが楽しかったりして、タブレットも持たせてもらう確率が高い時代なので、視覚的なところをうまく取り込んでいくことが求められているのかと思います。そして図書室に誰かいる、誰か相談に乗ってくれる人がいる、一緒に本を選んでくれる司書の方がいるとまた違ってくるのかと考えます。図書ボランティアの方が業間に図書室にいらっしゃるが、図書委員を見守ったり、自分の作業をしたりしていて、子どもたちとのかかわりはお願いしていないです。家読の推進で、１１月に読書貯金をしたり、家読のすすめを学年だよりや学校だよりに載せたりしました。
（委員長）	小学校５・６年生や中学生の単純集計で、学校図書館に期待することはなにかという質問でもっといろいろな本をそろえる以外に、本を探しやすくするというのが上位にきている。単純に本を分類順に並べるとわかりにくい。新着図書コーナーやテーマ展示であったり、調べものであったりとか、別置をつくると、一つの解決策になるが、こういったことは学校図書館に専任で働く司書がいないと運営が難しい。 先ほど先生からも専任の学校司書の配置の話があったが、今回神戸市の学校司書の募集案内を見ると、４０名程度の採用予定である。加古川で学校司書の採用について、どのような状況かお聞きしたい。そこが解決されな

	いと、解決できない部分があると考える。現状では難しいでしょうか。
(ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ)	学校司書については毎年周辺のことを調べて、予算取得できるように努力しておりますが、実現には至っていない状況です。
（事務局）	本日ご欠席の委員からメールをいただいておりますので、代読いたします。 経年変化を見ても大きな変化には気が付かなかったが、中学校の読書環境は今の状況ではこれ以上のことは望めないのではないか。委員会活動なども各学校の工夫でいろいろ活動している。やはり学校図書館の充実には司書の配置が必要である、という内容です。
（事務局）	（２） 加古川市子どもの読書活動現状把握並びに課題検討について 資料 1-2「不読率・１か月間の平均読書冊数の推移」に沿って説明 資料 2-1「子どもの読書活動実態現状把握」に沿って説明 資料 2-2「令和元年度全国学力・学習状況調査結果の概要（加古川市）」抜粋について引用 資料 2-3「第 65 回学校読書調査」（毎日新聞）記事引用 基本方針の(1) 「子どもが本と出会い、親しむ機会の提供と、読書の楽しさを実感できる環境づくり」、基本方針の(2)「学校園等における読書習慣の形成と学習支援機能の充実」、基本方針(4)「 子どもの読書活動に関する啓発と理解の促進」についての、現状の活動内容、成果、課題
（委員）	図書室のボランティアで、先生方がお勧めする本の紹介をしたことがあるが、大変興味を持っていた。本を借りていく子どももいて、本を手渡す人も必要。授業時間が必要なのもわかるが、図書の時間を削るのではなく、図書室で本を読む時間というのは大切にして頂きたい。ちょっとでも先生の意識を向けてほしい。
（事務局）	（３）「計画全体の構成」について 資料 3「加古川市子どもの読書活動推進計画（第３次）計画・目次」に沿って説明
（委員長）	章立ての構成は第２次とまったく変わっていないのですか。
（事務局）	同じ構成でいきたいと考えています。加古川市の他の計画を見てみても、

	このような章立てが多いと思います。
（委員長）	アンケートの結果をどう反映させていくのか。加古川市のアンケートはクロス集計など、詳しいアンケート結果を出している。高校生へのアンケートも追加したので、何か反映させたいと思うのですがいかがでしょうか。
（事務局）	第２章がページ数も少なく、アンケートの結果を盛り込む形でいいでしょうか。ほかの計画ではどうでしょうか。
（ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ）	基本的な考え方が先で、その後に取組がくると思います。
（事務局）	今の第２次の計画では第１次の取組がこうだったというのを受けて、今回の基本的な考え方となっています。基本的な考え方の部分は第２次と第３次と大きくは変わらないと思います。
（委員）	逆でもいいと思います。その後、現状の取組と次の取組を並べるというのでもいい。
（事務局）	第１次と第２次の計画では基本的な考え方の中で、保護者に対する内容の取組を第１次と比べると増やしました。そこで基本方針のところでも保護者を含めた市民全体の取組としたと思います。
（委員長）	第２章と第３章の入れ替えの方が、流れ的にはスムーズにいくと思います。
（委員長）	議事は以上です。
３　閉会 （委員長）	あいさつ
（事務局）	次回は２月７日の開催でお願いします。